

# 平成28年度 決算・財政状況

国見町の平成28年度決算が9月定例議会で認定されました。町の財政は皆さんの大切な税金をもとに運営されています。昨年度は、どれくらいの収入があり、どのような目的に使われたのか、決算の概要と財政状況をお知らせします。

## 《一般会計決算》

平成28年度の一般会計決算は、歳入94億4,993万円（前年度比25・0%減）、歳出88億9,448万円（前年度比25・2%減）、歳入歳出差引額（形式収支）5億5,445万円の黒字となりました。決算規模は、住宅除染等が完了したことが主な要因で、大幅に減少しました。

なお、歳出決算額を「通常事業」と「復旧復興事業」の2種類に大別すると、通

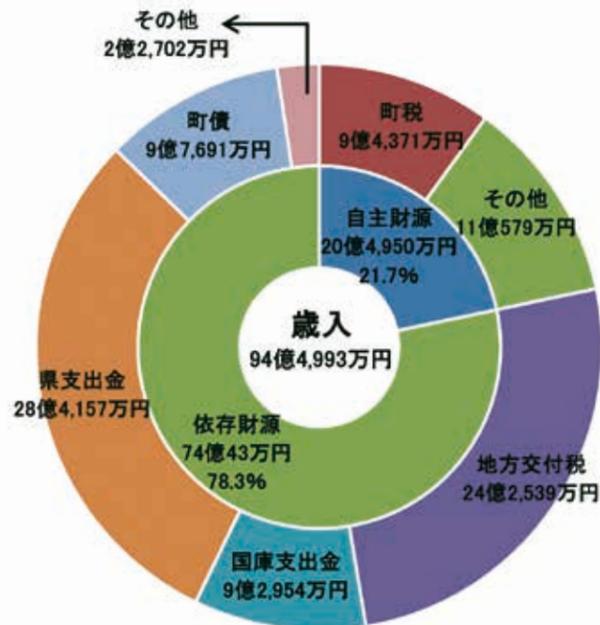


交流連携・防災の拠点となる「道の駅国見あつかりの郷」



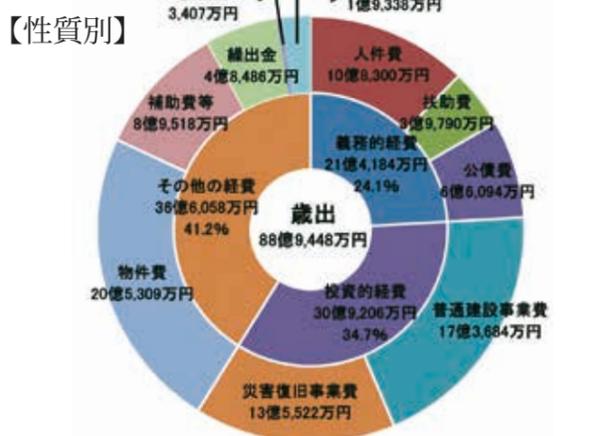
道の駅内子ども木育広場「つながる〜む」

## 《歳入 94 億 4,993 万円》



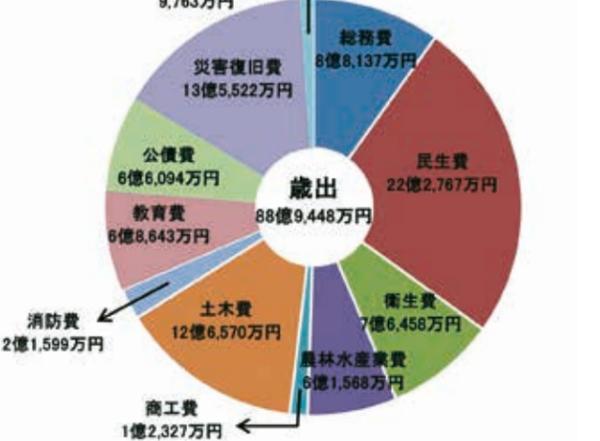
項目	歳入決算額	構成比	増減率
町税	9億 4,371万円	10.0%	2.2%
分担金及び負担金	3,387万円	0.4%	229.6%
使用料及び手数料	1億 417万円	1.1%	△1.1%
財産収入	393万円	0.0%	△20.0%
寄附金	4,761万円	0.5%	515.4%
繰入金	8,089万円	0.9%	△63.0%
繰越金	7億 1,461万円	7.5%	19.1%
諸収入	1億 2,071万円	1.3%	△2.5%
小計	20億 4,950万円	21.7%	2.8%
地方交付税	24億 2,539万円	25.7%	2.0%
国庫支出金	9億 2,954万円	9.8%	27.8%
県支出金	28億 4,157万円	30.1%	△54.6%
町債	9億 7,691万円	10.4%	△2.1%
地方譲与税	5,715万円	0.6%	△1.0%
利子割交付金	94万円	0.0%	△35.7%
配当割交付金	259万円	0.0%	△28.6%
株式等譲渡所得割交付金	138万円	0.0%	△53.3%
地方消費税交付金	1億 5,021万円	1.6%	△11.2%
自動車取得税交付金	967万円	0.1%	△8.1%
交通安全対策特別交付金	124万円	0.0%	4.0%
地方特例交付金	384万円	0.0%	15.8%
小計	74億 4,943万円	78.3%	△30.2%
合計	94億 4,993万円	100.0%	△25.0%

## 《歳出 88 億 9,448 万円》



項目	歳出決算額	構成比	増減率
人件費	10億 8,300万円	12.2%	△3.3%
扶助費	3億 9,790万円	4.5%	12.6%
公債費	6億 6,094万円	7.4%	3.7%
小計	21億 4,184万円	24.1%	1.5%
普通建設事業費	17億 3,684万円	19.5%	7.9%
災害復旧事業費	13億 5,522万円	15.2%	53.7%
小計	30億 9,206万円	34.7%	24.1%
物件費	20億 5,309万円	23.1%	△63.4%
補助費等	8億 9,518万円	10.0%	0.3%
繰出金	4億 8,486万円	5.4%	△6.7%
積立金	3,407万円	0.4%	△69.3%
維持補修費	5,044万円	0.6%	36.8%
投資及び出資金	1億 2,898万円	1.5%	34.4%
貸付金	1,396万円	0.2%	2.3%
小計	36億 6,058万円	41.2%	△49.7%
合計	88億 9,448万円	100.0%	△25.2%

## 【目的別】



項目	歳出決算額	構成比	増減率
総務費	8億 8,137万円	9.9%	0.4%
民生費	22億 2,767万円	25.1%	△63.1%
衛生費	7億 6,458万円	8.6%	6.1%
農林水産業費	6億 1,568万円	6.9%	15.5%
商工費	1億 2,327万円	1.4%	5.7%
土木費	12億 6,570万円	14.2%	21.5%
消防費	2億 1,599万円	2.4%	△3.5%
教育費	6億 8,643万円	7.7%	△2.5%
公債費	6億 6,094万円	7.4%	3.7%
災害復旧費	13億 5,522万円	15.3%	53.7%
議会費	7,717万円	0.9%	△7.8%
労働費	2,046万円	0.2%	△34.8%
諸支出金	0万円	0.0%	0.0%
合計	88億 9,448万円	100.0%	△25.2%

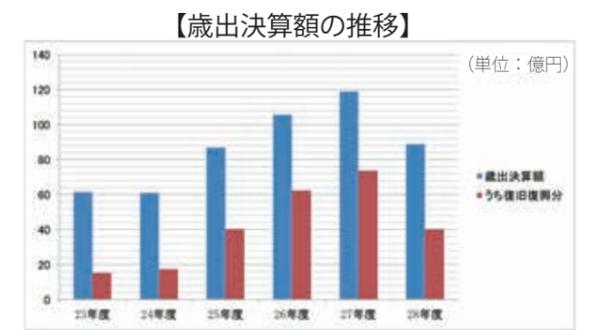
常事業48億5,290万円（54・6%）、復旧復興事業40億4,158万円（45・4%）になりました。

29年度への繰越事業（農業ビジネス訓練所整備事業等）のうち、自主財源額は1億6,665万円、これを歳入歳出差引額から差し引いた実質収支決算額は3億8,880万円の黒字決算となりました。さらに前年度実質収支額5億5,231万円を差し引いた単年度収支額は1億6,351万円の赤字となりました。

決算額の上位を占める事業としては、除染対策事業24億3,000万円、道の駅整備事業11億1,000万円、障がい者福祉事業1億8,000万円になります。

【用語解説（歳入関係）】

- 自主財源／町税や施設使用料など、町が自らの収入とすることができるお金
- 町税／町民税（個人、法人）、固定資産税（土地、家屋、償却資産）、軽自動車税、町たばこ税として納税いただいたお金
- 依存財源／地方交付税、国・県支出金、町債など他から交付されるお金
- 地方交付税／町の財政力に応じて国から交付されるお金



【用語解説（歳出関係）】

- 国・県支出金／事業の財源として使い道が特定された国・県から交付されるお金
- 町債／事業を行うため国及び金融機関から借りたお金
- 義務的経費／支出すること義務付けられている経費
- 投資的経費／道路や学校など将来に残るものに対する経費
- 扶助費／社会保障制度の一環として児童・高齢者・障がい者・生活困窮者などへの支援に要する経費
- 公債費／過去に借りたお金を返済するための経費
- 普通建設事業費／道路・公共施設などを整備するための経費
- 物件費／光熱水費・各種委託料・除染業務などの経費
- 繰出金／一般会計から特別会計へ支出する経費
- 補助費等／事務組合や任意組織に対する補助金などの経費
- 積立金／財政調整基金・各種特定目的基金へ積立するための経費